

乗合タクシー実証運行における 評価指標（案）の設定について

令和4年（2022年）9月9日
能勢町



能勢PR キャラクター
「お浄・るりりん（アマビエver）」

実証運行における評価指標（案）について

（１）評価指標設定の考え方

- 乗合タクシー運行事業に係る評価指標の達成度や進捗を点検評価し、適切な進捗管理を行うものとする。
- 評価指標が達成されない場合は、改善策の検討・実施を行い、目標が達成された場合でも利便性向上に向けた改善策の検討・実施を行う。
- 評価指標の設定に当たっては、指標の測定のための情報・データの入手が過重な負担とならないものとする。

（２）評価指標の設定

- 持続可能な交通システムの実現に向けて、運行継続・運行内容の見直しの判定を行うために、「評価指標」を設定し、以下に示す項目を評価することで、事業としての方向性を検討する。

① 運行日あたり利用者数

- ・ 利用状況を評価するため、「運行日あたり利用者数」を評価指標として設定

② 1便あたり利用者数

- ・ 乗合交通としての運行状況を評価するため、「1便あたり利用者数」を評価指標として設定

③ 設定運行日に対する実運行日数（稼働日割合）

- ・ 公共交通として定常的、継続的な利用がされているかを評価するため、「設定運行日に対する実運行日数」を評価指標として設定

④ 実利用者数

- ・ 乗合タクシーの運行に関する情報が正しく伝わり、その他に移動手段がない等、本当に必要な人が利用しているかどうか、かつ利用者に偏りが生じていないかどうかを測る指標として、「実利用者数」を評価指標として設定

⑤ 収支率

- ・ 財政負担により賄われる運行経費の負担状況を示す収支状況も考慮する必要があるため、「収支率」を評価指標として設定

実証運行における評価指標（案）について

■ 評価指標及び目標値の設定

評価指標・項目	実績値 (令和4年7月末時点)	目標値 (令和5年3月末)
運行日あたり利用者数	1.93人/日	20.00/日
1便あたり利用者数	1.42人	1.50人
設定運行日に対する実運行日数の割合 (稼働日割合)	56.0%	100.0%
実利用者数	12人	85人
収支率	0.6%	12.7%

■ 事業の評価を行うに当たって留意点

- 乗合タクシー運行事業の評価を行うに当たっては、上記の評価指標に加えて、地域交通の多面的な効果にも留意するもの。

(例)

- ・ 乗合タクシーの導入により、路線バスの利用者増加につながっているか。
- ・ 日常生活に必要な移動手段として乗合タクシーが活用され、買い物や病院等へのアクセスを確保しているか。
- ・ 乗合タクシーが町内の各地を運行することで、地域の賑わいづくりに寄与しているか。

